

# ガイダンス(改訂版)

桂田祐史

2002年4月11日

## 1 全般的な注意

- 2002年度システム更新のため、シラバスの内容とは若干異なる可能性がある<sup>1</sup>
- この講義科目のための WWW ページを用意する。  
<http://www.math.meiji.ac.jp/%7Emk/syori2/>  
本日の時点では昨年度のページが表示される。
- 原則として情報処理・演習 I, II を履修してある学生を対象とする。  
(UNIX ワークステーションの使い方などを知っていると仮定する。)
- 成績評価はレポートによる。レポートは電子メールで提出する。  
提出先アドレス [syori2@math.meiji.ac.jp](mailto:syori2@math.meiji.ac.jp)  
質問用アドレス [mk@math.meiji.ac.jp](mailto:mk@math.meiji.ac.jp)
- プリントを配布する (教科書はない)。  
電子化したものを講義用 WWW ページに載せるので、紛失したり、欠席して入手できなかった人はそちらから自力で入手すること。
- 授業中にインターネット講習会を実施する。
  - これに出席することでインターネット利用資格が得られる。(既に取得済みの学生は、その日は出席する必要はない。)
  - インターネット利用資格取得は、この講義の単位を取得するための必要条件である。

## 2 新システムの概要

- 情報処理教室においてあるコンピューターは、Microsoft Windows 2000 という OS で稼働している。  
(昨年度情報処理 I, II で利用したワークステーションは、Solaris (SunOS) という UNIX の一種で稼働していた。)

---

<sup>1</sup>今回のようなシステム更新があることが公表されたのは、シラバス原稿を提出した後だった。またシステムの詳細な内容は現在も説明されていない。仕方がないので自前で大急ぎで調査中...

- ASTEC-X というソフトウェア<sup>2</sup>を利用することで、Solaris も利用できる。
- Windows 2000 は、Solaris と同様、マルチユーザー・システム<sup>3</sup>である。  
利用者 (ユーザー) は、ユーザー名とパスワードを入力することで、そのマシンにログオンしてから利用開始となり、終了したらログオフする。
- Windows 2000 の操作については、他の Windows と共通することが多い。  
(この講義では Windows の操作について、一から解説することはない。電子メール、WWW ブラウザー以外は Solaris のソフトを使う方法を説明する予定。とはいえ、Windows に慣れていた方が便利なのは確かなので、必要に応じて自習して下さい...)
- Windows 2000 を利用する際には、個人用のファイルはマイドキュメントというフォルダに保存しておくといよい。  
(これは Solaris からは ~/.windows2000 というディレクトリとして見える。逆に Solaris におけるホームディレクトリは、Windows 2000 からは Z: ドライブとして見える。マイコンピュータを開くと、一番最後に現れる。)

### 3 本日やるべきこと

新年度のシステムに触って、一通り使えるようにする程度でよい。

#### 3.1 新システムを使い始めよう

注意: 以下の説明は昨年度に情報処理センターに利用登録した人、つまり Solaris システムのアカウントをもっていた人向けである。昨年度利用登録していなかった人は、以下の 3.1.1 を飛ばして、3.1.2 から実行すればよい。

##### 3.1.1 新システムへの「仮登録<sup>4</sup>」

以下の操作は、今年度、最初に一度だけすれば良い。

ユーザー名 `passwd`, パスワード `meiji` で Windows 2000 システムにログオンし、自分のユーザー名<sup>5</sup>、パスワード (昨年度最後に使っていたもの) を入力する。詳しくは、情報科学センターが用意した『2001 年度利用者の Windows へのユーザー名パスワードの設定について』を参照せよ。

##### 3.1.2 「情報科学センター生田分室 2002 年度利用申請手続き」

これは今日から 5 月 31 日 16:00 までの間の「いつか」に一度だけすればよい。

<http://www.isc.meiji.ac.jp/util/2002.html> にアクセスして、自分のユーザー名、パスワードを入力する。

<sup>2</sup>X Window System に詳しい人向けの説明: ASTEC-X はいわゆる X サーバーである。

<sup>3</sup>大ざっぱに言うと、利用者ごとにアカウントという資格を用意して、利用者を「厳密に」区別して扱うシステムである。Windows 98, Me などはマルチユーザー・システムとは言えない。

<sup>4</sup>仮登録というのは、ここだけの用語で情報科学センターの人に言っても通じません。念のため。

<sup>5</sup>昨年度入学した数学科学生の場合は普通 `ee180xy` ( $x, y$  は数字) となっているはず。

## 3.2 Windows 2000 のログオン、ログオフ手順

利用開始 (ログオン) 手順は以下の通り。

- (1) 誰も利用していないコンピューターを選び、Ctrl+Alt+Delete を入力する。  
([Ctrl] キーと [Alt] キーを同時に押しながら、[Delete] キーをタイプする。)
- (2) 『パスワード設定』ウィンドウにユーザ名、現在のパスワードを入力する。  
(まずユーザー名を入力、つぎに [Tab] をタイプしてパスワード入力欄に移り、パスワードを入力し、リターン)<sup>6</sup>

利用終了 (ログオフ) 手順は以下の通り。

- (1) スタート・メニューからシャットダウン (U) を選ぶ。

## 3.3 Solaris システムの利用

まず Windows 2000 にログオンしておく。

### 3.3.1 Solaris にログイン (ASTECC-X 利用開始)

- (1) スタート・メニューから ASTEC-X を選択する。
- (2) ユーザー名、パスワードを入力する。  
(ユーザー名、リターン、パスワード、リターン)
- (3) (初めての利用の場合) デスクトップの選択をする。OpenWindows デスクトップを選ぶと、OpenWindows が起動する。

### 3.3.2 Solaris と Windows 2000 の切り替え

以下の文章はわかりにくいですが、百聞は一見にしかずなので、スクリーンで説明するものを良く見て欲しい (簡単に覚えられるはず)。

画面右下の ASTEC-X という小さなウィンドウをクリックすると、Windows 2000 に切り替わる。そして、画面右下の “X” というアイコンをクリックすると Solaris に切り替わる。

### 3.3.3 Solaris をログアウト (自動的に ASTEC-X も利用終了となる)

Solaris の利用を終了するには、OpenWindows デスクトップの背景部分にマウスカーソルを持って行き、マウスの右ボタンを 1 回クリックして現れるメニューから終了を選ぶ。

## 4 おまけ

問 Windows 98, Windows Me のようなシステムにもユーザーの概念はあって、「ログオン手続き」をさせられることはあるが、普通はマルチユーザー・システムではないと考えられている。なぜか？

---

<sup>6</sup>入力欄の選択をマウスで行なうこともできる。またリターン・キーを押す代わりに OK ボタンをクリックしてもよい。